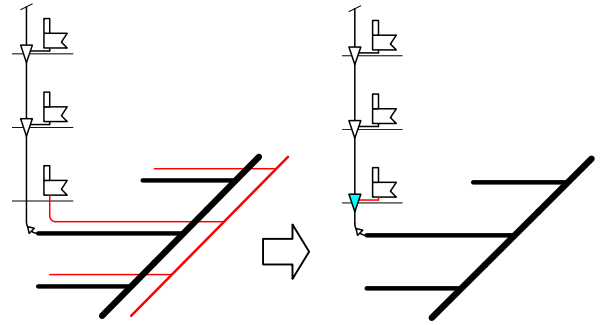


設備工事情報シート	衛生	I-P-66-改 ₁	制定	2008年4月1日
			改訂	2015年3月1日
機器・材料	最下階排水横枝管合流方式		クボタ編	

1. 目的・概要

従来別配管としていた最下階排水を、立て管系統に合流させることで、より合理的な排水システムを実現する。

- (1)管路の設計・施工工数を低減し、コストダウンを図る。
- (2)配管経路を統合することで、レイアウト上の制約を低減し、施工性・設計自由度の向上を実現する。
- (3)最下階系統の横枝管・横主管部分での詰まりを防止する。
- (4)配管経路をシンプルにすることでメンテナンス等の作業性向上を実現する。



最下階単独配管

最下階合流配管

2. 適用範囲

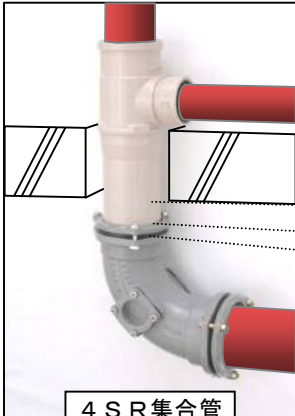
- (1)立て管100Aの最下階専用排水集合管(4SR・4SRT)との組合せ又は通常集合管を使用。
- (2)4SRシリーズは最下階排水専用(立て管中間階での使用不可)。
- (3)4SRシリーズは専用脚部バンド(5Lバンド、コンパクト5Lバンド)と直接接続して使用。

3. 施工例及び施工上の留意点

4SR 施工例		<ul style="list-style-type: none"> ①スラブ天～横主管芯が465mm～515mm以内の場合は4SR集合管を用いる。 ②垂直方向への長さ調整については集合管下部の差し口部分を切断加工する。 ③必ず5Lバンド又はコンパクト5Lバンドを直付けして使用し、横主管径は原則150Aとする。(5階規模以下は125A可) ④脚部バンドは専用の支持金具等でしっかりと固定する。
4SRT 施工例		<ul style="list-style-type: none"> ①スラブ天～横主管芯が525mm～635mm以内の場合は4SRT集合管を用いる。 ②垂直方向への長さ調整については集合管下部の差し口部分を切断加工する。 ③必ず5Lバンド又はコンパクト5Lバンドを直付けして使用し、横主管径は原則150Aとする。(5階規模以下は125A可) ④脚部バンドは専用の支持金具等でしっかりと固定する。
4SL 施工例		<ul style="list-style-type: none"> ①スラブ天～横主管芯が645mm以上の場合は、最下階専用集合管は使用せず上階と同じ集合管を用いる。 ②垂直方向への長さ調整については集合管下部と脚部バンドを接続する短管にて調整する。 ③脚部には必ずLバンドを使用し、横主管径は原則150Aとする。(5階規模以下は125A可) ④脚部バンドは専用の支持金具等でしっかりと固定する。

資 料


4. 製品の特徴



4 SR集合管

下部差し口をサイズアップ


最下階継手から脚部ベンドに至る部分の断面積を大きくして、空間的な余裕をもたせ、同時に通気の閉塞を防止しています。



立て管受け口100A
下部差し口125A

納まりの微調整が可能


下部差し口のストレート部が長い(240mm)ため、ストレート部を切断して納まりの微調整をすることが可能です。




240mm

振動絶縁対策にシンドカット

振動絶縁材シンドカット装着品もラインアップ。特に汚水系統の固形物衝突音対策にお勧めします。



シンドカット
国土交通大臣認定番号:
PS060FL-0044
(財)日本消防設備安全センター性能
認定番号:評14-640号



SRシリーズ専用
コンパクトLベンド

従来Lベンドと比較して、横主管レベルを約100mm上げられます。

- ・エントランスの天井高を確保するために
- ・立体駐車場/駐輪場と干渉させないために
- ・梁せいを変更せずに配管を貫通させるために
- ・浅い樹に対し適正な勾配を確保するために

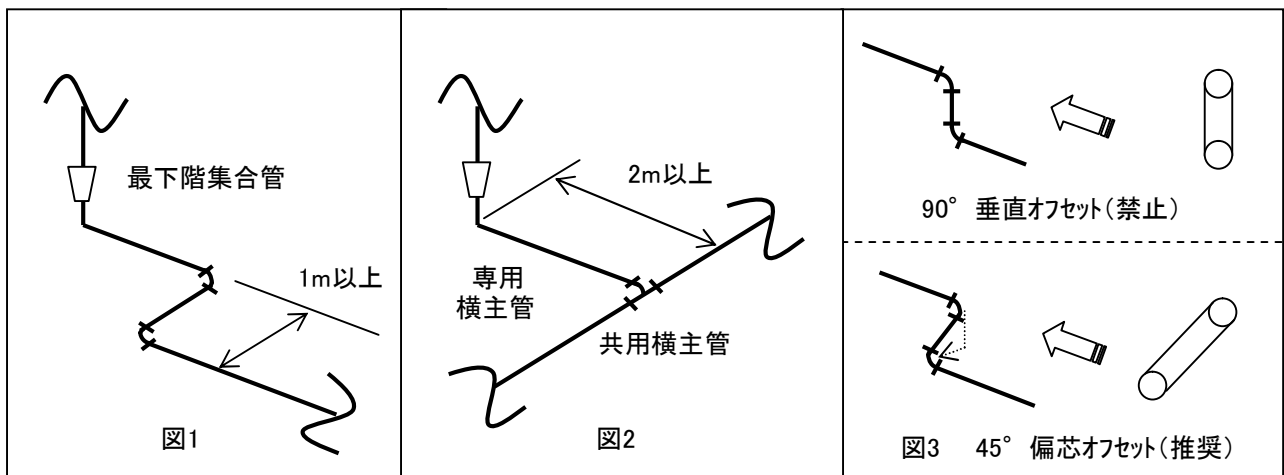
納まりが問題となる様々なケースでご使用いただけます。

ご注意
本製品の立て管受け口は差込み形ゴムリング接合です。自重による抜け・落下を防止するために、必ず最初に専用支持金具で本体を固定してください。

5. 最下階排水横枝管合流方式採用時の留意

最下階排水器具までの距離が近く、脚部ベンドより下流側の横主管の状況に影響されやすいため、最下階合流方式を採用するにあたっては、特に以下の点に注意する

- (1)横主管に水平曲がりがある場合は、大曲り継手を使用し、曲がり間の距離を1m以上確保する。(図1参照)
- (2)専用横主管が共用横主管に合流する場合は、立て管脚部からの距離を2m以上確保する。(図2参照)
- (3)専用横主管が共用横主管に合流するまでに僅かな立ち下げが発生する場合は、90°大曲り継手を上下で偏芯して45°で立ち下げる。(垂直オフセット禁止。図3参照)



6. 問合せ先

クボタシーアイ株式会社 設備・プラント営業部

東日本エリア(関東・甲信越・東北・北海道) 東京本社 担当:橋本 TEL03-5246-7897 又は弊社営業担当まで
西日本エリア(近畿・東海・中四国・九州) 本社 担当:岸本 TEL06-6648-2265 又は弊社営業担当まで

注:この情報シートは日建連の基準、規格ではありません